

たび 教えて! 旅 GIRL



Profile

窪 咲子(くぼ さきこ)

1987年生まれ。編集、ライター。出版社を経て、世界一周の旅に出発。トラベルライターとして仕事をしながら世界中を旅する。今までに訪れた国は65カ国。地球の歩き方WEBサイトにて世界各国で出会ったイケメンのストリートスナップを掲載する『世界イケメンハンター』を執筆。帰国後は『マツコの知らない世界』や『アイム冒険少年』などメディアにも出演。著書に『GIRL'S TRAVEL』(ダイヤモンド社)、『恋する世界一周』(イカロス出版)。



あまり体力に自信がないのですが、バックパッカーに憧れています。荷物を軽く、小さく出来る方法があったら教えてください!

はじめてのバックパック旅行に胸を躍らせ、あれこれと荷物を詰め込んで、いざバックパックを背負おうとすると重くて持ちあがらない…。私のバックパッカーデビューは苦い思い出とともにスタートしました。

LCCなどの格安航空会社には厳しい重量制限があり、バックパッカーにとって荷物を軽くすることは重要課題。とくに、**女性なら荷物は10キロ以内に収めることをオススメします**。準備の段階では、「あれもあつた方がいい」「きつとこれも必要だろう」と不安になり、つい荷物を詰め込みがちですが、私は悩んだら、持って行かないことにしています。というのも、**旅に出てみると、思いのほかどこでも必要なものが手に入ることに気づきます**。電化製品や日焼け止めは日本で買うのが一番ですが、ヨーロッパを訪れたとき、安くてかわいい服の多さに驚き、わざわざ日本から暑い



国で着る服も、防寒具も全てバックパックに詰め込んできたことを悔やみました。実際はその土地に行き、必要になった時に買えばいいのです。困ったときは古着屋に駆け込み、アウトドア用品や服を探し、15ユーロ(約1750円)ほどで購入したムートンブーツを履いて3か月ヨーロッパを旅していたこともありました。

日本から持ってくる服は最小限にして、お土産代わりに旅先で服を買うのはいかがでしょうか。

また、自分の旅スタイルを理解し、本当に必要なもの

を見極めることが大切です。バックパッカーをはじめたばかりのころは、「バックパッカー=ハードな冒険が待っている」と思い込んでいた私。日本で購入したトレッキングシューズを持って、張り切って旅に出たのですが、実際は街歩きがメインで、履き慣れたスニーカーで歩き回る日々。トレッキングシューズは活躍する場もなく、日本へ送り返されました。

旅の回数を重ねるごとに荷物はだいぶ少なくなったものの、それでも慢性的な肩こりに悩まされた私は、思い切ってバックパックでの旅をやめ、スーツケースに切り替えました。すると、今まで億劫だった移動がずいぶん楽になり、自分の旅に合うのはスーツケースだったのだと確信。使っていたのは、スーツケースにもリュックにもなる2WAYタイプのもので、その日の気分次第で変えられるのでとても重宝しました。

このように、旅に必要な物は千差万別なので、ガイドブックの持ち物リストに頼らず、いま一度、ご自身の旅のプランと向き合ってみてください。きっと本当に必要なものがわかるはずですよ。



最近の 旅ニュース

NEWS OF THE TRIP

「ハワイ」と聞くと、ビーチやワイキキの街並みをイメージする方が多いかと思いますが、実は自然の宝庫だということをご存知ですか?「ガーデンアイランド」とも称されるカウアイ島には、「太平洋のグランドキャニオン」とも言われるワイメア・キャニオンが存在します。本家アリゾナのグランドキャニオンにも引けを取らない雄大なスケールで、何百万年もかけて自然が作り出した大渓谷が真下に広がる風景は圧巻。ワイメア・キャニオンのトレッキングも人気ですが、滞在日数が短かった私はヘリコプターでカウアイ島をぐるりと一周するツアーに参加しました。これまでのハワイのイメージが覆されるほどの驚きと感動を味わうことができ、オススメです。



旅ガール窪咲子さんに聞いてみたい旅の疑問を募集中! 詳しくは日本ユースホステル協会 hm@jyh.or.jp まで!